

令和7年度第2回安城市総合交通会議 議事録

1 日時

令和7年12月24日(水) 午前10時から

2 場所

安城市役所 第10会議室

3 出席委員

22名

4 会議内容

1 あいさつ

2 議題

(1)地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

(2)あんくるバス高棚線「福釜町内会」バス停移設について

(3)あんくるバス東部線の運行ルートについて

3 報告事項

(1)公共交通の利用状況等について

2 議題

(1) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><大興タクシー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域間幹線の補助対象路線がどこに乗り入れているのかを説明していただきたい。 ・あんくるバス南部線は碧南市民病院へ乗り入れているが、補助対象ではないのか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんくるバス西部線と作野線は、東刈谷駅において刈谷市に乗り入れている。 あんくるバス東部線は宇頭駅付近にバス停を設置し岡崎市に乗り入れている。 ・輸送量 15 人という指標を下回っているため補助対象外である。
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の目標数値については、今現在全て達成している状況だという認識でいいか。 ・利用者数が増加している中で、これまでどおりの施策を継続して実施することが基本となるが、今後新たに実施することなどはあるか。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・その通りだ。タクシーは未達だが、公共交通全体では達成している。 ・順調に推移しているので、現時点で新たな実施予定はない。
<p><運輸支局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補足説明だが、補助金については、10月から翌9月までの年度、計画の評価については4月から翌3月までの会計年度となっている。 	
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市内の保育園の遠足で、ららぽーと安城へ行ったといったことは把握しているのか。 ・ららぽーととそうした情報の共有をするとよい。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外の方の利用については把握していなかった。

<p><社会福祉協議会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は、買い物、病院、市役所、社協が目的地となることが考えられ、自家用車を運転できなくなった後も公共交通で行く事ができるように整備されれば、安心して暮らすことができる。 <p>あんくるバスで、このような目的に行く事ができるということをもっと宣伝することができれば利用者也増えると思う。</p> <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動を考える際には、生活する上でしなければならぬ移動だけでなく、やりたいことを実現できるような公共交通を目指すべきである。Have To Do から Want To Do へ。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許返納前に公共交通がどういうものなのかを知っていただくことが大切となり、取り組みの一つとして、まちかど講座を実施している。 <p>移動した目的地で何ができるのかについて周知することも大切となるため、他部署等とも連携し、利用促進を図っていく。</p>
<p><町内会長連絡協議会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安祥線は歴史博物館へ行く方が利用することが多いと考えられ、そのおかげで路線維持されていると思う。路線設定の際は、目的地となる施設を通るようにすれば、利用が多くなると思う。 	<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非日常の移動が日常移動を支えるという考え方は大事。 <p>歴史博物館での魅力ある催しは、バス利用者の増加へつながるので、文化事業とも連携を深めてもらえればと思う。</p>
<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・時刻表や路線図などを、公共施設や大きな病院だけでなく、クリニックや商業施設などにも配布すれば、もっと知ってもらえるのではないかな。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力していただける施設があるかを含め、関係部署と連携して検討していく。

<p><バス協会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部様式は提出しないのか。 <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・折角作成し、総合交通会議で確認もされた資料であるので、提出をするように。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価委員会では提出が必要となるが、今回は提出が必須ではない。 <p><運輸支局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出は義務ではないが、提出していただければ参考にさせていただく。
<p><名鉄バス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シェアサイクルが増加することで、バスの利用にも影響することが考えられるので、バスへの影響も検証しながら、ポートの拡大に取り組んでいただきたい。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスへの影響も出ることも考えられるが、バスの無い時間に利用できる点もあり、本市としては公共交通全体で相乗効果が出ていると、捉えている。 <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にバス利用者数も増加しているので、シェアサイクルもバスも相乗効果が出ているのではないか。
<p><商工会議所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動の目的地となる商業施設等と連携した公共交通の利用促進に関する補助制度についても検討していただきたい。 <p>また、商工会議所としても公共交通の利用促進について、会員企業に聞きながら、取り組んでいきたい。</p>	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんくるバスの利用促進について、商店街とも連携していく必要があると認識している。 <p>また、あんくるバスだけでなく、タクシーや路線バスなど、役割やサービス水準に応じたさまざまな移動手段を紹介していくことが利用促進につながるため、関係者と連携していきたい。</p> <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所と連携した取り組みが立ち上がることを期待する。 ・若い方々は結構公共交通を利用している。 <p>住み続けてもらうための重要な要素である。</p>

<p><バス協会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シェアサイクルポートなど、一度できて便利になったものは、持続的に設置して欲しい。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市は自転車を公共交通に一つとらえており、シェアサイクル事業も市が主体となっている。バス同様、地域での利用促進を図ることも大切であると認識している。 <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安城市のシェアサイクルは、民間主導ではなく、行政が実施している点が非常に特徴的であり、期待できる点である。
<p><エプロン会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前の商店街で自転車を撤去していることが多い。 ・乗り方が分からない利用者が多いので、バス案内人をイベント開催時に配置するのはどうか。 ・バス停待合環境整備もぜひ検討してほしい。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前は放置自転車禁止区域のため、ご理解いただきたい。 ・バス案内人は毎年同時期に行っているが、イベント時の公共交通利用促進についても、関係施設等と連携していく。 ・バス停のベンチ設置等についても、地域と連携して検討していく。 <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント時の案内人については、関係者と連携して検討いただきたい。
<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホでのルート検索はすごく楽になり、利用が増加すると思うので、もっと周知してもらいたい。 ・講座のように一時的ではなく、福祉施設等に案内人を配置するなど、誰でもすぐに知れるような周知をしてもらいたい。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルート検索やバスロケーションシステムの周知について、まちかど講座などで周知していく。 ・福祉施設の窓口等での周知等を含め、関係者と連携して検討していく。 <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の会議で、スクリーンで実演していただきたい。

<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見があった内容は、事業評価でも読み取ることができる。今後どう実行に移すかが大切となるので、前向きに検討してもらいたい。 	
---	--

(2) あんくるバス高棚線「福釜町内会」バス停移設について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移設日は明確にしなくてよいのか。 	<p><運輸支局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度上、今明確にする必要はないが、準備が整い次第、届出、周知をすれば問題ない。
<p><大興タクシー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃料金協議会はなぜ開催する必要があるのか。 <p>・あんくるバスは一乗車 100 円と定額であるが、バス停間の距離が少し変わっても 100 円のままで良いという協議が必要だということに認識でよいのか。</p> <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・もともと運輸局の認可運賃だけであったが、協議会で認められた運賃も適用できるようになった。ただ、交通事業者内でのカルテルの恐れがあるとして、運賃料金協議会を別途行うこととなった。 ・運賃料金協議会は書面決議可能で、今後の協議を省略できる規約を作れば、軽微な変更については、開催しなくてもよいという仕組み 	<p><運輸支局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃は運行事業者ごとに賃率や距離などを基に、認可している。 <p>あんくるバスの運賃は、協議を経て設定されているため、今回のバス停間距離の変更によって、制度上再度協議が必要となる。</p> <p>また、議題3についても、新規路線設定となるため、運賃料金協議会に諮る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性質上必要となるが、こうした軽微な変更について、1度協議を整えることで、それ以降の協議が省略できるといった仕組みもできたので、事務局とも相談しながら進めていく。

<p>ができた。</p> <p>・そうした規約を作ってはどうか。</p> <p>＜大興タクシー＞</p> <p>・あんくるバスの運賃について運行事業者には決める権限がない。その点を考慮して、運賃料金協議会のあり方等を検討してもらいたい。</p>	<p>＜事務局＞</p> <p>・その方向で支局と調整している。</p> <p>＜運輸支局＞</p> <p>・協議運賃はコミュニティバスのみ適用されるものではない点と、法律で制定されているという点とがある以上、ご理解いただきたいが、効率的な運営については検討する。</p>
<p>＜バス協会＞</p> <p>・バス停の移設先が駐車場の出入口に近く、安全性は大丈夫か。</p>	<p>＜事務局＞</p> <p>・出入口の安全については問題ない。警察協議でも確認済である。</p>

(3) あんくるバス東部線の運行ルート変更について

主な発言・質問・指摘事項	回答・対応方針
<p>＜会長＞</p> <p>・歩行者専用の規制解除については大丈夫か。</p> <p>・規制によって必ずしも地元の方の安全が保たれていたわけではないという認識でよいか。</p>	<p>＜事務局＞</p> <p>・問題ない。かつて通学路であったため規制がかかっていたが、現在は通学路となっておらず、規制だけが残っている状況であった。警察と協議し、今回規制を解除する方向で進めている。</p> <p>・問題ない。規制によって幼稚園の駐車場へ出入りする車も制限されていた。</p>

3 報告事項

(1) 公共交通の利用状況等について

<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none">・あんくるタクシー里・橋目地区の利用が伸びたのはなぜか。・頻繁に利用する方がいることによって、他の方が利用できない状況にはなっていないという認識でよいか。	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none">・頻繁に利用する方が数名いるためである。・乗合率は 1.3、多くても 2 人程度であるため、利用できない状況にはなっていない。
<p><バス協会></p> <ul style="list-style-type: none">・シェアサイクルの利用者について、市内住民か市外住民か把握はしているか。	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none">・利用者の属性までは分からないが、市内での移動が多くなっている。 <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none">・軌跡を見ると、バス路線とは重なっていないことが多いので、補完関係になっている。

4 その他

<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none">・高齢者交通安全サポーター制度とあるが、免許返納した方のみタクシー割引ができるということか。・割引のことが、「サポーター制度」と示されるのは分かりにくいのか。・了解した。ただ、表記の件については検討してみてもよいと思う。	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none">・その通りである。愛知県警 HP にも同様の記載がある。・公共交通としてタクシーを大きくとりあげているが、商業施設等でも特典を受けられる制度であり、固有名詞である。
--	--

<p>＜大興タクシー＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月1日からタクシーの運賃改定があった。 ・タクシー会社の電話番号の記載があるが、近年ではタクシー配車アプリが導入されており、電話予約するよりも便利なきもある。 	<p>＜事務局＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配車アプリについては次回製作時に記載できるよう検討していく。
<p>＜市民＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再来年で計画満了を迎えるにあたり、ぜひ次期計画にむけて早いうちから取り組んでもらいたい。 ・安城市では病院をハブとしているが、買い物ができるような商業施設への公共交通のあり方についてもぜひアンケート調査などをとおして検討してもらいたい。 ・地域間幹線である名鉄バス岡崎・安城線は非常に重要であると認識している。例えば、ららぽーとまで乗り入れるなど、路線の維持と補助対象路線であり続けるためにどうしていくかも検討してもらいたい。 	<p>＜事務局＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期計画策定にむけ、他市の調査事例を参考にしながらよりよい調査方法を検討していく。 ・国庫補助は路線を維持する上でも重要であり、持続可能な公共交通と社会を築くためにどう取り組んでいくかを引き続き検討していく。